

議発第11号

「日本政府に核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加を求める意見書」の提出について

掛川市議会は、地方自治法第99条の規定により、「衆議院議長」「参議院議長」「内閣総理大臣」「外務大臣」に対し、「日本政府に核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加を求める意見書」を裏面のとおり提出する。

令和5年9月29日提出

提出者

掛川市議会議員

山本裕三	高橋篤仁	鷺山記世
安田彰	大井正	山田浩司
橋本勝弘	石川紀子	嶺岡慎悟
富田まゆみ	藤澤恭子	勝川志保子
寺田幸弘	鈴木久裕	藤原正光
窪野愛子	松本均	二村禮一
草賀章吉	山本行男	松浦昌巳

日本政府に核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加を求める意見書

国連で採択された核兵器禁止条約は6年が経過し、署名93、批准69か国・地域と世界的な核兵器禁止を求める大きな潮流をつくりだした。しかし、条約への核保有国の参加が見られない中で、国際情勢を見ても核兵器廃絶への道は険しいものがある。今こそ唯一の被爆国として、核保有国と非保有国の橋渡しをする時である。

非核平和都市宣言を行っている自治体として、政府が、核兵器禁止条約締約国会議にオブザーバー参加することを要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年9月29日

静岡県掛川市議会